

1 ●NTR×リゾート 1000DL御礼音声用台本

2
3 登場人物

4 浅森 佳希(31)

5 当作品のメインヒーロー。

6 若くして商品営業部の部長となり、眉目秀麗なこともあつて女性社員の憧れの的。

7 本人は隠しているが、実は日本屈指のホテルグループ「森ノ宮グループ」の創業者
8 一族。

9 ヒロイン（聞き手）に恋心を抱いているが、彼女に恋人がいるからと身を引いてき
10 た。

11 だが、ヒロインの恋人である水島が浮気をしていると知つたため、浮気相手の女性
12 社員を巧みに操つて、ヒロイン、その恋人、そして浮気相手の三人を自分の息がかか
13 ったリゾートホテルにやってくるように仕向ける。

14 ヒロインに対しては、優しくて頼りになる職場の上司。

15 ヒロインの恋人は直属の部下だが、あまりいい感情は抱いていない。

16
17 ヒロイン／聞き手

18 会社員。同じ会社に勤めている恋人がいる。交際4年目。

19 恋人とは結婚を考えていたが、当の本人はどうやら浮気をしている様子。

20 そんな中、不意に彼から「旅行に行こう」と言われ、あなたは超有名ホテルグル
21 プ「森ノ宮グループ」系列のリゾートホテルへと向かう。

22 しっかりした性格だが、恋人の浮気が発覚して傷心中。

23 浅森の言葉に乗っけてしまい、最終的には彼に寝取られる。

24

※シチュエーション

有名リゾートホテルの地下、VIP客しか立ち入りを許されない特別な施設の中にあるプール。

プールサイドでのセックスを終えたヒロイン（聞き手）と浅森が、汗を流すべく備え付けのシャワールームへとやってくる。

//SE 遠くの方で人がざわめく声。

備え付けのシャワールームって、案外狭いんだね。

俺たちの他に、あと何人か余裕で入れると思ってた……（ちよつと残念そうに）

ヒロイン「十分広いと思いますけど……」

そうかな？

だって、こつやってくついても……（吐息交じりで）
んっ……ほら、あんまりスペースないし。

それにこつ、座るところもないんだよ？ 本当に大丈夫？

（さっきまで激しくセックスしていたので、純粹にヒロインのことを心配して）

ヒロイン「……大丈夫です」

本当に？ それにしては、さっきから足ガクガクしてるみたいだけど……。

それに、水場で転ぶと危ないよ。

足に力入ってないのに、滑って転んだら大変だ。

ほら、俺につかまって？

ヒロイン「ほ、本当に大丈夫ですからー」

だーめ。

ふふっ、そうだ、俺が体洗ってあげるよ。

1 //SE 水着が擦れる音

2
3 ほら、水着も全部脱いじゃおうね。
4 汗かいて気持ち悪いだろう？

5 全部洗い流して、気持ちよくなろう？

6
7 //ヒロインの水着を取り払う浅森

8 //悲鳴を上げるヒロイン

9
10 あれ、まだ乳首勃起してる……

11 さっきいっぱい触ってあげたから、まだ敏感なままなのかな？

12
13 //浅森、ヒロインの胸を触り始める。

14 //ヒロイン「やつ……誰か来ちゃうからっ……！」

15
16 大丈夫。誰も来ないよ。

17 それに、俺たち、さっきはもつとすごいことしただろう？

18
19 //浅森、ヒロインの乳首をつねったり、指で弾いたりする。

20
21 んっ……はぁっ……

22 ダメって言いながらでも、ちゃんと乳首硬くなってきてるよ？

23 はぁっ……ふふっ……

24 こうやって思い切り、ぎゅーってつままれるの……気持ちいいね？

25
26 //ヒロインの耳元で囁きながら、愛撫を続ける。

27
28 君は本当に、可愛い声で喘ぐよね。

29 シャワールームだから余計に響いて聞こえる——

1 おかげで、また勃^たってきちゃった

2
3 //ヒロインのお尻に腰を押しつける浅森。

4 (既に水着の上から見てわかるほどに勃起してます)

5 //喘ぐヒロイン

6
7 わかる？ 俺のちんぼ、君がこんな風にしたんだよ？

8 あれだけ、たーくさんセックスしたのに、まだ足りない――

9
10 //ヒロイン「さ、さすがに……」

11
12 ……うごじゃダメ？ どうして？ (しつとりと語り掛けるように)

13 さっきプールサイドでセックスした時の方が、もっとすごかっただろう？

14 んっ、ちゅっ……ちゅっ…… (キス音十秒)

15 (ヒロインの首元にキスをする)

16
17 //腰を揺らすヒロイン。浅森、ヒロインの水着(下)も剥ぎ取ってしまう

18 //SE 水着が擦れる音

19
20 ふふっ……もう期待して声が上がってる。

21 この短時間で、君の癖がよくわかったよ。

22 ちゅっ……ちゅぱっ、ちゅ……

23 はあっ……案外快楽に弱くて、真面目なのに体が敏感で――

24 触られて気持ちいいと、声がちよっと高くなるんだ。

25
26 //ヒロインの胸を揉みしだく浅森。次第に興奮してくる。

27 //ヒロイン、浅森から逃げようと身をよじるが、しっかりと捕まえられて逃げられ
28 ない。
29

1 こーら、逃げちゃだめ。(やや低い声で)
2 ちゃんと体洗ってあげる……ボディーソープで肌荒れたりとかしたことはない？
3

4 //SE ボディーソープを手のひらで広げる音

5 //浅森、ボディーソープをつけた手でヒロインの胸を揉みしだく。
6

7 体洗ってるだけなのに感じてるの？
8

9 ……腰、クネクネしていやらしいね？
10

11 丸くて可愛いお尻……俺に押し付けて、誘ってるでしょ。
12

13 //ヒロイン「さ、誘ってなんか……！」
14

15 そうかなあ？
16

17 こうやって、乳首カリカリくって引っ搔いてあげたら……
18 (ちよっと面白がっているような声音で)
19

20 //ヒロイン、喘ぐ。腰を揺らして感じ始める。
21

22 ほら、乳首気持ちいいね？
23

24 どんどん気持ちよくなって……はあっ……(浅森自身も感じている様子で)
25 腰ガクガクしてきた……はーっ……さっき乳首でイッたの、思い出しちゃった？
26

27 //浅森、さらに強く腰をヒロインに押し付ける。
28

29 おまんごんどんトトロトロになってきたよ……
30

体洗ってるだけなのに、いやらしいなあ

27 乳首もこんなに敏感だし……ホント、水島くんにはもったいないよ
28 (最後だけ吐き捨てるような調子で)
29
30

1 //たぶたとヒロインの胸を揉み、乳首を刺激し続ける浅森。
2 //ヒロイン、次第に体をくねらせて浅森の体に自分から密着しはじめる。

3
4 自分から体こすりつけて、もう限界かな？

5 ……ああ、こっちはもうすごいことになってるね。

6
7 //浅森、ヒロインの股間に手を伸ばす。

8 //SE ポタポタという水音

9
10 これ、お湯じゃないね？

11 おっぱい触られただけで、こんなにグチヨグチヨになってる。

12 ……そっだ、乳首とクリトリス、一緒に触ってみようか？

13
14 //ヒロイン、思わず食い気味に「いいんですか？」

15
16 (若干笑いながら)

17 もちろん。おかしくなるくらい気持ちよくなってことなんて、今までないだろう？

18 ……俺が、君に教えてあげる(強い意志を込めた声で)

19
20 //浅森、ヒロインのクリトリスを触り始める

21 //SE 水音

22
23 やっぱ、乳首とは違うね。

24 クリトリス、すっごくプリプリしてる……

25 ほら、こっやって……んっ……

26 コリコリって触ったら、すごく気持ちいいだろう？

27
28 //浅森、愛撫を続ける。(やや興奮した様子で)

29 //ヒロインは立ってられず、壁に手をつく。

30

1 あれ、立っていられなくなっちゃった？
2 ふふ——大丈夫だよ。俺が支えていてあげる。
3 ……あれ、でもそうしたら、君に触れられないなあ（とぼけた様子で）
4

5 //浅森、とぼけながらも愛撫は止めない。
6 //そのままヒロインとキスをする浅森。
7

8 ちゅっ……じゅるっ……んちゅっ
9 んんっ、ちゅっ……はあっ、はあっ……（キス音二十秒ほど）
10 ねえ……そろそろこっちも欲しいだろう？
11 このまま、ここでシチャおうか……
12

13 //SE 水着を脱ぐ音
14

15 軽く足開いて……そうそう、上手だよ。
16 壁は手に就いたままにしてね？
17

18 //ヒロイン、言われた通りに壁に手をつく。
19 //浅森、ヒロインのうなじにキスをする。
20

21 ちゅっ……んちゅ、ちゅぱっ……ぢゅるっ
22 ん——いい子だね。
23

23 じゃあ、このまま……足腰砕けないように、少しだけ頑張ろうか。
24 っゝ……—
25

26 //挿入。ゆっくりと息を吐きだしながら。
27

27 //SE 水音
28

28 //SE プラストン音
29
30

1 うわ、せつま……でも、ちゃんと奥まで入ってる。
2 すごいなあ（感じ入ったように）
3 君のナ力は、やっぱり俺のと相性がいいみたいだね。

4
5 //SE 肌と肌がぶつかる音

6 //喘ぐヒロイン。浅森、ヒロインの下腹部に軽く触れながら。

7
8 はあっ……はっ……

9 じっ、この辺り……わかるかな？

10 君のお腹の中、ここらへんまで、俺のちんぽが入ってるの……
11 ふふっ、ちよっと触っただけで、まんこギュウギュウ締めつけてくる……
12

13 //ヒロイン、壁に手をつけて快感に耐える

14 //浅森、それを気にする様子もなくひたすら攻め続ける

15
16 気持ちいい、ねっ……！

17 まんこずーっと締まって……っ、俺に甘えてるみたい♡

18 はっ、あ……んあっ、は……っ（吐息交じりで喘ぐ）
19

20 //ヒロイン「じれすじっ、気持ちいい……♡」
21

22 （ヒロインの耳元で囁くように）

23 ……ずっと、こうしていたいね。

24 君もそう思うだろう？ 愛してくれない恋人なんかより……

25 俺を、っ……選んでっ……！
26

27 //浅森、ピストンを続ける。立ちバックで攻める。
28

29 心も、体も——ほとんど俺の手に堕ちてきている。

30 わかるよ……昔から人の考えてることを当てるのが得意なんだ

1
2 //抽送が少し緩やかになる。浅森、ヒロインの下腹部を撫でながら

3
4 ふ、はぁっ……

5 ……ねえ、もっと気持ちよくなりたくない？

6 今よりもっと、俺を感じて——気持ちよくなる方法、教えてあげようか

7
8 //焦らすように緩慢な動きをする浅森

9
10 ……好きって、言ってみて。

11 嘘でもいいし、俺のことじゃなくて……水島くんのことを思ってもいい。
12 ただ、言葉に出してっらん

13
14 //ヒロイン「でも……」

15
16 大丈夫。

17 ほら——こうしたら、誰にも聞こえないよ。

18 俺にも、……君自身にだって

19
20 //浅森、ヒロインの耳を塞ぐ。

21 (本当は聞こえないはずないんですが、ヒロインを安心させるための嘘です)

22 //浅森、更にシャワーのコックを一気に捻る。水量最大。

23 //SE シャワーの音

24
25 ぐ……ふ、はぁっ……

26 (めっくりとした動きで、浅森も感じている様子で)

27
28 //ヒロイン「……好き、すぎ、っっ……♡」

29 //SE 水音。次第に強くなるもの

30

1 くは、あつ……やば、さつきよりまんこ締まってきた……
2 はあつ、はつ……もしかして、甘イキしてる？
3 ナカがうねって——んっ、ははっ……♡

4
5 //ヒロイン「すき♡好きなのっ♡あっ♡あぁっ……♡♡」

6
7 うん——俺も好き……大好きだよ……（切なげに）
8 このまま、水島くんなんか君を返したくない……
9 ねえ、もっと……もっと言って？（優しくねだるように）

10
11 //ヒロイン「好き、んっ……♡佳希さん♡佳希さん大好き、いつ……♡」
12 //ヒロイン、強い突き上げを受けてイク。そのまま体から力が抜けるが、浅森がそ
13 れをしっかり支える。

14
15 お、っと……危ないな……
16 抱えていてあげるから、このまま気持ちよくなろうね。

17
18 //ヒロインを抱き上げる浅森。
19 （後ろから両足を持って抱え上げるので、かなり恥ずかしい体勢）
20 //ヒロイン「お、おろしてくださいー」

21
22 下ろす？ なんで？（心底不思議そうに）
23 これだったら君が力を入れなくても、俺が支えていてあげられるだろっ？

24
25 //ヒロイン「この体勢、恥ずかしいです……」

26
27 恥ずかしくなんてないよ。誰も見ていないさ。

28
29 //浅森、少しシャワーの水流を抑える

30 //SE シャワーの水流 弱め

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30

それに……気持ちよくない？

ほらここ、君がたくさん感じる場所だよ。

ちんぽの先端で……ちよつと刺激してあげただけで、っ……♡

さつきとは角度が違うから、感じ方も変わってくるだろう？

//浅森、小刻みに腰を動かす

奥までたつぷり、俺のを感じて。

いいね？（耳のすぐ横で囁くように）

声も、呼吸も、鼓動も——一つに入り混じってしまうくらいに、
深く愛しあいたいんだ……。

//SE 抽送音、次第に大きく

//ヒロイン、強すぎる快樂に潮吹き

わ、っど……

まんこガン責めされて、

気持ちよくなりすぎて潮吹きしちゃったね？

（慌ててるヒロインを宥めるように）よしよし。

慌てなくても大丈夫だよ。それくらい、俺のちんぽで感じてくれたんだ——ねっ！

//浅森、下から激しい突き上げ。ヒロインがイっても止めない。

く、っ……ふうっ……
んっ……舌、出してみて……？

は、んちゅっ……ぢゅるっ、ちゅっ（キス音二十秒ほど）

//浅森、キスをしながら更に責め立てる。もたれてきたヒロインを抱えてさらにピ
ストン。

1
2 ……っ、ねえ、もう一回……。
3 もう一回だけでいいから、好きって言って……。 (継るように)
4
5 //ヒロイン「す、好き♡好きです♡♡佳希さん、あっ♡また、あっ♡♡」
6 //ヒロイン、深めの絶頂。
7
8 く、っ……は……
9 や、これっ……ナカ、きつつ、うっ……
10 はっ、あ、イきそ……ッふ、あ——イクっ……
11
12 //浅森、つられる形で射精。
13 //そのままヒロインにキス
14
15 んんっ、ちゅ、ちゅぱっ……ちゅううっ……
16 は、はーっ……はーっ……♡
17 …… っばい頑張ったね。
18 たくさん好きって言うてくれて、嬉しかったよ——
19 このまま——もう少しだけ、俺と一緒にいよう？ ね？
20

21 //SE 水音○シャワー音 (小さめ、徐々にフェードアウトしていく感じで)
22
23
24